

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年03月04日

計画の名称	酒田市中心市街地へのアクセス改善と賑わいを創出する社会資本整備													
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度 (5年間)										重点配分対象の該当			
交付対象	酒田市													
計画の目標	狭隘な市道の整備や改築を行うことにより、有効幅員の拡幅や安全性を高め、特に冬期間の中心市街地へのアクセス改善や年間を通して観光施設等の賑わいを創出する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		2,180	A	2,180	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H33末	H35末
1	市道台帳の実延長調書より総市道延長に対する有効幅員5m以上の延長で割合を算出し、76.9%（H31当初）から79.0%（H35末）に増。			
	車道部幅員が5m以上確保されることで、冬期でも円滑で安全な走行が可能な道路延長比率。 （冬道安全道路整備率）＝（有効幅員5m以上の延長）÷（総市道延長）	77%	78%	79%
2	市の観光施設入込数について年間360万人を目標とする。			
	市の観光施設入込数 観光入込者数の数値は酒田市総合計画及び酒田市中長期観光戦略で定めている360万人を目標とする。	320万人/年	340万人/年	360万人/年

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
庄内北部定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A01-001												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	雪寒	酒田市	直接	酒田市	市町村 道	除雪	（１）牧曽根庭田線ほか3 18路線	除雪 L=323. 5km	酒田市	■	■	■	■	■	155		－
	A01-002	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村 道	改築	（１）錦町坂野辺新田線 ほか	ﾊﾞｲﾊﾟｽ L=0. 41km	酒田市	■	■	■			852		－
	A01-003	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村 道	改築	（他）住吉町4号線ほか	路肩改良 L=3. 6km	酒田市	■	■	■	■	■	209		－
	A01-004	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村 道	改築	（他）北新橋一丁目6号線 ほか	路肩改良 L=4. 1km	酒田市	■	■	■	■	■	236		－
	A01-005	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村 道	改築	（他）亀ヶ崎四丁目七丁 目2号線ほか	路肩改良 L=4. 1km	酒田市	■	■	■	■	■	234		－
	A01-006	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村 道	改築	（他）若王寺線ほか	路肩改良 L=2. 9km	酒田市	■	■	■	■	■	176		－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村 道	改築	（他）黒森線ほか	路肩改良 L=3. 7km	酒田市	■	■	■	■	■	213		－
	A01-008	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村 道	改築	（他）新橋北新橋1号線	道路改良 L=14. 0m	酒田市			■	■		40		－
	A01-009	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村 道	改築	（１）新堀余目線	道路改良 L=0. 56km	酒田市				■	■	65		－
											小計						2, 180		
											合計						2, 180		
	A01-009																		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 関係各課による調整会議の開催	事後評価の実施時期 令和7年3月
	公表の方法 酒田市公式ホームページ
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ 錦町坂野辺新田線のバイパス整備を行った結果、冬季に安全に通行できる道路延長が増えた。 ・ 住吉町4号線ほかの路肩改良を行った結果、冬季に安全に通行できる道路延長が増えた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	77.5		
	最 終 目標値	79%	市単独事業においても、ほかの整備すべき路線の整備を進めたため。
	最 終 実績値	77%	
2	270		
	最 終 目標値	360万人/年	
	最 終 実績値	259万人/年	